

宮崎大学発 都農町かわら版

令和4年11月号

寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、宮崎県内では初めての取り組みです。

宮大が都農町寄附講座で
行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



毎号変わる！ 都農にいる宮大のひと紹介

毎週木曜日は
町立病院で診
療しています



吉村 学 (よしむら まなぶ) 先生

宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授

2003年岐阜県揖斐郡北西部地域医療センター センター長
2015年～現職

日本プライマリ・ケア連合学会理事(多職種協働委員会担当)
専門：地域医療、総合診療、家庭医療、医学教育。

~~~~プロフィール~~~~

鹿児島県曾於市財部町出身。丙午。実家は農家。  
趣味：映画（ミニシアター系）、犬（トイプードル：名前はタンタン）の散歩、クラフトビール。地域医療の実践とその後進の育成に情熱を燃やす。地域での多職種連携を促進するための人材として「ごちゃませ師」を創設して活動中。

都農町の皆さんには寄附講座や町立病院を通じて、たくさんの医学生や若い医師たちが大変お世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。

2015年に宮崎大学に戻ってきて、「地域での地域医療教育実践こそが鍵」との信念で活動していたところ、河野町長さんと出会ってからのたくさんの議論を重ね、「夢」を掲げて今に至っております。イツノマさんとのご縁で11/4に「つの未来会議」で登壇し、地域の皆様と意見交換できたことはとても嬉しいことでした(右写真)。今後も町内各地で対話ができるとよいと考えております。



キーワード：「ごちゃませ師」とは？  
地域での多職種連携教育をコーディネートする人材のこと。  
子どもから障がい者、高齢者などあらゆる年代の住民が住み慣れた場所で安心して生活できるようにするためには医療・介護・福祉などの専門職種が垣根を越えて協力することが大切です。地域での多職種・多施設の連携による「地域包括ケアシステム」構築に必要な橋渡し役、場づくりを仕掛けるのがごちゃませ師です。

宮崎大学では平成28年度から吉村先生を中心にごちゃませ師養成プログラムを企画し、都農町でもこれまで町役場や財団、病院他医療機関から22人が受講、「ごちゃませ師」を学びました。今後のごちゃませ師達の活躍が期待されます。

## 研修医紹介：徳地 佑香 (とくちゆか) 先生

宮崎大学医学部卒業、研修医として2年目になる。  
11月の1か月、町立病院にて勤務中。



ひと言：初めての外来診療や在宅医療など都農町の皆様が温かく受け入れてくださり、学びが多い毎日です。病気だけでなく、患者さんに寄り添う視点を今後とも大切にしていきたいです。

町のけんこう応援団が毎日  
けんこう日記を書いているぴょん！  
質問箱もあるぴょん！



都農けんこう日記 検索

## 11月のけんこう日記から (11/12から抜粋)

### 「乳がん検診①」 by つのまるナース

自分の体験から・・・このまえ乳がん検診に行ってきました。今回はなぜかエコー検査が念入りで。チラチラ見ると過去の画像と頻回に照らし合わせながらしつこいぐらいに。自分でもその違和感が気になっていたのも事実。頭の中がモヤモヤし出しました。不安になりました。・・・待っている間の私・・・待ち時間が長く不安がまた増強し悪いことばかりを考える。・・・まだ呼ばれない。最後の一人じゃん。→「乳がん検診②」記事につづく

# 出口ゼミ(交通まちづくり研究室)の研究活動紹介

出口研究室では、4年生1名、3年生3名、後期より2年生2名が加わり調査研究活動を進めています。今回は、3年生が取り組むコミュニティ交通とサイクルツーリズムの調査について紹介します。



【コミュニティ交通調査】地域資源創成学部3年 志貴裕紀(しきゆうき)さん  
福祉バスと乗り合いタクシーの利用実態調査を行い、町民の移動・交通ニーズにあうコミュニティ交通システムを検討します。これまで**まちづくり課、福祉課と協議**をして町民ヒアリングを計画しました。乗客の他**社会福祉協議会**の協力により、ふれあいセンターでも聞き取りをしています。

ひと言：都農町に関わって1年、何度か調査を行ってきました。より良い研究成果に結び付けるため、もっと都農町のことを知ってみたいです。

【サイクルツーリズム】地域資源創成学部3年 足達正修(あだちせいしゅう)さん  
町内観光スポットや地域資源を調査して**散歩モデルルート作成**します。その後宮崎県建築士会と協力し、ルートの誘導サインをデザインします。5月に**町役場、観光協会、建築士会**など22名が参加するサイクリングイベントを実施、参加者にアンケート調査をしました。



ひと言：都農町を舞台にサイクルツーリズム、観光案内板について学んでいます。都農町内での自転車観光が進むように頑張ります。

PBL(Project Based Learning) プロジェクト企画・実践は都農町をフィールドとして問題解決手法の立案、実践を通じてマネジメントを学ぶ科目です。後学期は**下浜地区の津波避難ルート**を調査しました。

11/12(土)・13(日)にPBLの学生4名と出口ゼミ2名、熊野ゼミ3名の9名が参加し、地区の防災に詳しい山本光雄氏、疋田末弘氏の講話と、**8地点**から緊急避難施設までの**昼間と夜間の避難時間の歩測、避難ルート沿線の課題調査**を行いました。模擬避難では、社会福祉協議会よりお借りした**高齢者疑似体験用の重り付きベスト**を着用し、B避難ルートをリヤカーで**模擬避難**を実施しました。

詳しくはHP→



### 講師の方からのコメント

「下浜地区の津波避難対策を興味深く学んでもらってありがたい。」(山本氏)  
「調査は大歓迎で、学生視点からの提案を期待します。」(疋田氏)



# 10.11月の学生の都農町内イベント参加&交流

## 10/22(土)ゴミ拾い&ハロウィン byたわわハートネットさん



参加した学生

ツノタイムズなど学生2名と瀬川先生が参加してお手伝い。神社~図書館周辺を総勢27名でゴミ拾いなど活動しながら子どもたちとの交流を楽しみました。最後にはお菓子も頂きました!



集めたごみの分別



ご褒美のお菓子くじ

## 10/29(土)ハロウィンイベント@ワイナリー by都農町青年団

Suzunariの学生ボランティア20名&地域活性化・学生マイスターの農学部2年生9名、地域学部瀬川ゼミ2年生2名による町民インタビュー



都農の魅力や都農ワインについて聞き取りする学生たち↓



学生サークルSuzunari20名が朝から設営準備のお手伝い、夕方からはしっかり仮装して楽しく盛り上げました!

## 11/6(日)ハーベストフェスティバル by 都農ワインさん

学生ボランティア10名が運営のお手伝い、地域学部出口ゼミ2年生2名によるアンケート調査を行いました。



当日は、ボランティア学生その他、地域学部1、2年生のイベント参加希望者を乗せて宮大発の貸切バスが都農ワインを2往復しました。

Tシャツを着たボランティアの学生達は朝から精力的に働き、閉会後は打ち上げ懇親会に参加、実行委員の方々と交流しました。また、出口ゼミは来場者にアンケートを配布し、回収・返送されたものを後日集計、来年に生かせるよう都農ワインさんにお渡しします。秋晴れの中、イベントは盛況で初めて都農町でのイベントに参加した学生も楽しんで過ごしました。



かわら版デジタル

発行元：つの未来財団  
発行日：2022年11月22日(原則毎月発行)  
編集：宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構  
問い合わせ：0983-32-1270(つの未来財団)